

事業番号	05 13 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	医薬品等の安全確保・適正使用の推進			部局	健康福祉部	課・室	薬事管理課
				実施期間	S22 ～	E-mail	yakuji@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標	⑦健康寿命						
総合的に展開する重点政策	4-2 ライフステージに応じた健康づくりの支援			4-3 医療・介護提供体制の充実			

1 現状と課題

1 長野県内には、医薬品医療機器等法による許可を受けた事業所又は届出された事業所（以下「医薬品等事業者」という。）が約10,000ある。医薬品等の製造等には、有効性及び安全性を確保するために、厳格な管理が義務付けられているが、最近では製造業者が決められた規則から逸脱するなどし、行政処分を受けるなど問題となっている。そのため、医薬品等事業者を監視し、適切に医薬品等が取扱われていることを確認しなければならない。

また、患者が医薬品を適正に使用するためには、薬剤師による丁寧な説明が必要であるが、長野県の薬剤師は不足（人口10万人あたり全国255.2人に対し長野県224.8人）しているため、確保していくことが必要である。

2 医療に使用される輸血用血液製剤等の原料として必要な血液量を確保し、県内で使用される血液の安定確保を持続的に図る必要がある（R3 献血目標達成率100.6%）。少子高齢化が進展するなかで、将来の献血者数を確保するため、10～30代の若年層への啓発が必要である。

3 依然として大麻・覚醒剤の薬物乱用は後を絶たない状況であり、全国的にも令和3年度の大麻事犯検挙者に占める少年率は18.1%（長野県は11.1%）と若年層への薬物乱用が懸念される状況にある。このため、若年層に対する薬物乱用防止啓発の推進が必要である。

4 新型インフルエンザによる感染症が流行した場合、長野県では、286,200人分の抗インフルエンザ薬が必要と考えられているが、流行時には品薄になることが多く、市場に流通している量では対応できないことが考えられている。このため、流行に備え、抗インフルエンザ薬を持続的に確保しておくことが重要である。

また、地震等の災害時には、交通障害の発生により、必要とされる医薬品等が供給困難になることが予想されることから、各地域で使用、必要とされることが多い医薬品等を常に確保しておく必要がある。

2 事業目的

製造・販売される医薬品等の品質、有効性及び安全性の確保、医薬品の適正使用及び違法な薬物等への対策、輸血用血液製剤等の確保及び、緊急時の医薬品等の体制整備などへの持続的な取組により、県民が安心して暮らすことができるようにする。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①薬剤師復職・就業支援

- ・薬学生、U・Iターン希望者、県外在住未就業薬剤師をターゲットにした就職・復職説明会の開催
- ・復職に向けた座学研修（2回）・実習（病院・薬局）の開催
- ・未就業・復職間もない薬剤師向けの受講しやすい研修機会の確保

②若年層への献血啓発

- ・プロスポーツチームとのタイアップによる観客への啓発
- ・中学生・高校生からの献血推進ポスター募集

③若い世代への薬物乱用防止啓発

- ・高校生が薬物依存経験者の体験談を直接聞き、更に共に話し合う機会を設けることにより、若い世代に薬物乱用防止意識の高揚を図る（県内高校20校）

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定期理由
			実績	実績	実績	実績	実績	実績			
①	薬事監視実施率	%	29	36.5	↗	38.3	↗	30	達成	医薬品医療機器等法による許可年限は5年もしくは6年が多く、定期的な監視として許可年限の中間時と更新時に行うこと（3年毎）を目標とした。	
②	献血目標達成率	%	102	100.6	↘	95.3	↘	100	未達成	毎年策定される長野県献血推進計画に対する献血目標達成率を目標とした。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	0	182,760	96,953	279,713		253,533	15.6
R3年度	14,297	85,038	55,069	154,404		135,625	15.6
R2年度	0	211,660	583,296	794,956		748,095	15.6

事業番号	05 13 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	医薬品等の安全確保・適正使用の推進		部局	健康福祉部	課・室	薬事管理課

6 主な取組実績と成果

① 薬剤師復職・就業支援

薬学生、U・Iターン希望者、県外在住未就業薬剤師をターゲットにした就職・復職説明会をオンラインにより開催した。また、本事業について、新聞広告やホームページ、SNSなど各種媒体を用いて県内外へ広く広報した。

さらに、未就業・復職間もない薬剤師向けに、自宅で都合の良い時間に学習できるよう、eラーニング形式による座学研修を実施し、復職に必要な最新の情報を提供した。

② 若年層への献血啓発

プロスポーツチームとのタイアップによるサポーターへの献血啓発を3回実施し、182名の方に献血いただいた。また献血リーフレットの全高校生への配布(58,100部)、献血推進ポスターの募集及び啓発ポスターの県内の主要公共交通機関10社での車内広告並びにネットのディスプレイ広告(5,400クリック)、全県立高校への訪問等による協力要請を実施した。この結果、県内高校での校内献血や献血セミナーが増加に転じるなど若年層への献血意識向上に向けた環境づくりを推進することができた。

③ 若い世代への薬物乱用防止啓発

高校生、大学生等の薬物乱用防止意識を高めるため、薬物依存経験者の体験談を聞く講座を県内21校の4,490名に対して実施した。また、若い世代に対し、長野県薬物乱用防止指導員(373名)、保健福祉事務所職員等による講座を205回実施し、20,459名に対して啓発を実施した。受講した生徒からは、「薬物乱用の恐ろしさを学ぶことができた」「薬物に誘われた時の断り方について、今から考えておく必要性を感じた」等の感想が寄せられ、薬物乱用防止に対する効果的な意識啓発につなげることができた。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	薬事監視実施率	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
必要な監視指導を着実に実施し、医薬品等事業者が適切に医薬品等を取り扱っているか、確認することができた。							
指標②	献血目標達成率	R3年度推移	↘	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
新型コロナ感染症の感染拡大により、企業で出社できない従業員が発生するなどし、特に企業献血に関して献血者確保が難しかった。これを街頭献血で補うよう献血バスの配車努力がなされたが、目標とする献血者の確保には至らなかった。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・監視の際に指摘した事項等を踏まえ、引き続き効果的かつ効率的な監視を実施し、医薬品の品質、有効性及び安全性を確保する必要がある。
- ・就職説明会、復職支援研修会ともに参加者を増やすために、周知の方法に工夫が必要。
- ・新型コロナ感染症の拡大の影響から献血者確保が難しかったが、5類移行後の社会情勢を踏まえて、広く県民に献血の必要性に関する広報・啓発を推進していく必要がある。特に将来の献血者数の確保に向け、若年層に向けた取組みが必要である。
- ・全国の薬物事犯の状況を見ると、特に10代の大麻事犯が増加傾向にあり、引き続き若年層への薬物乱用防止に対する意識啓発を実施する必要がある。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・医薬品等の製造から販売までの各段階での許可業者の資質向上及び病院・診療所における医薬品等の適正な取扱いを推進する。
- ・長野県内の薬剤師を確保するため、就職説明会、復職支援研修会の参加者が増えるよう、早い段階から持続的な周知を行う。また、復職支援研修会については、休職者等に必要なコンテンツを検討し取り入れ、充実を図る。
- ・献血者の必要性に関する県民に向けた情報発信を積極的に行うとともに、将来の献血者数の確保のため若年層への献血意識向上に向けた環境づくりを推進し、献血者数の増加につなげる。
- ・薬物乱用防止の講座について、薬物についての最新情報を取り入れる等、内容を充実させるとともに、講座の実施回数や啓発人数を増加させ、より一層、若い世代の薬物乱用防止意識の高揚を図る。

事業名	医薬品等の安全確保・適正使用の推進	部局	健康福祉部	課・室	薬事管理課
-----	--------------------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	医薬品等監視指導事業		11,636 千円	11,766 千円	14,708 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	許認可事務及び監視指導	直接	・医薬品等の品質、有効性及び安全性を確保するため、薬事関係許認可事務（GMP等実施状況調査を含む）及び監視指導（立入検査及び取去試験）を実施 ・国のPIC/S加盟に伴い必須となったGMP調査体制を整備するため、GMPリーダー調査員の継続的養成等を実施 監視指導を3,748件実施した。		
2	技術研修会	直接	医薬品等製造販売業者・製造業者・販売業者等の資質向上を図るため、研修会を実施 研修会を1回開催した。		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	医薬品等安全対策事業		127 千円	428 千円	123 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	医薬品等安全対策事業	直接	医薬品等類似商品（いわゆる健康食品等）による健康被害を未然に防止するため、当該商品の試買（14品目）及び成分分析を実施 14品目の試買を行った。		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	医薬品適正使用・環境整備事業		5,921 千円	3,147 千円	2,574 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ジェネリック医薬品使用促進事業	直接	後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進のため、県民への情報提供を実施 使用促進啓発ラジオ放送計31回、使用促進啓発テレビCM計60本		
2	医薬品有効性確保・副作用対策事業	直接	医薬品等業務上取扱者への指導及び消費者への啓発等のため、関係書籍の購入を実施 最新の書籍等を整備し、医薬品等業務上取扱者への指導を実施した。		

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	医薬品取扱費	141,003 千円	25,225 千円	137,042 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容(実績)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	国有ワクチン類の備蓄・供給	直接	国有ワクチン等の特殊なワクチン及び緊急治療用血清類を迅速に供給するため、これらワクチン等の備蓄及び供給体制の確保を実施 乾燥ポツリヌスウマ抗毒素(ABEF型)県下2か所、乾燥ポツリヌスウマ抗毒素(E型)県下1か所、乾燥ガスエソウマ抗毒素県下4か所に備蓄した。	
2	抗インフルエンザウイルス薬の備蓄	直接	新型インフルエンザ等の発生とまん延に備え、健康被害及び経済への影響を最小限にとどめるため、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄及び供給体制の確保を実施 286,200人分の抗インフルエンザウイルス薬(タミフルカプセル等全6品目)を備蓄した。	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	災害用医薬品等対策費	880 千円	871 千円	880 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容(実績)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	医薬品及び衛生材料の確保	補助金 直接	・災害時に必要となる医薬品及び衛生材料を確保するため、備蓄に対する補助を実施 ・薬事管理課及び保健福祉事務所において、事故発生時の応急処置をするための医薬品を配備 2者に補助を行った。	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	献血普及啓発事業	3,593 千円	3,531 千円	3,666 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容(実績)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	啓発及び体験機会の提供	直接	・幅広く啓発を行うためにラジオによる啓発を実施 ・気軽に体験できるように献血場所を提供 ・若年層対象にポスター募集やプロスポーツチームとタイアップした啓発 ・関係団体等と連携(献血推進協議会開催、献血推進員(40人)による啓発) 献血RP広告14回、プロスポーツチームタイアップ献血啓発3回、献血体験キャンペーン4回、県献血推進協議会総会1回	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
7	菅平薬草栽培試験地管理事業	2,638 千円	2,544 千円	3,253 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容(実績)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	菅平薬草栽培試験地管理事業	直接 委託	・希少優良種の保存・選抜のため、ダイオウの継承栽培を実施 ・試験地等で栽培した薬草の成分評価のため、環境保全研究所で試験検査を実施 ・来場者が快適に薬草に親しむ環境づくりのため、見本園、自然園及び研修棟等施設の整備・修繕を実施 ・県民への生薬の普及啓発のため、観察会等により試験地を活用 ・財源確保のため、ネーミングライツパートナーを確保 ・日常的な試験地整備及び来訪者への対応が必要なため管理を委託 薬草に関する正しい知識の普及のための研修会を1回開催した。	

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
8	薬物乱用防止啓発事業		2,265 千円	2,127 千円	2,060 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県薬物乱用対策推進協議会の運営	直接	長野県の薬物乱用意識の醸成のため、加盟団体を通じた啓発活動及び「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施 ラジオスポットCMを15回放送、国連支援募金結果1,245,584円		
2	薬物乱用防止指導員の活動	直接	地域での薬物乱用防止啓発推進のため、薬物乱用防止指導員を設置 薬物乱用防止指導員373名に活動を依頼し、のべ20,829人に対して薬物乱用防止に関する啓発を実施した。		
3	薬物乱用防止意識啓発	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代への薬物乱用防止啓発のため、FM長野のラジオスポットを活用して集中的な啓発活動を実施 大学、専修学校、各種学校の学生指導担当者を対象に研修会を実施 若い世代への薬物乱用防止啓発のため、高等学校で薬物乱用防止教室を実施 ラジオスポットCMを30回放送		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
9	毒物劇物安全対策費		1,249 千円	983 千円	1,103 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	監視指導	直接	<ul style="list-style-type: none"> 保健衛生上の危害防止のため、毒物及び劇物取締法に基づき毒物劇物営業者等の登録・許可等の電算処理を実施 毒物劇物営業者等における毒物劇物の取扱い等の適正化のため、立入検査を実施 毒物劇物に関する適正な取扱いや保管管理の徹底を図るため、危害防止運動を実施 毒物劇物に関する安全意識の高揚を図り、保健衛生上の危害防止のため、毒物劇物事故対策研修会を実施 危害防止運動2回実施、研修会1回実施		
2	空気呼吸器保守点検	直接	毒物劇物による事故等の有事に備えるため、保健所に主に配備した空気呼吸器の保守点検・空気の充填及び法令の規定による耐圧試験を実施 保守点検・空気の充填11か所・18本実施、耐圧試験4か所・6本実施		
3	毒物劇物事故処理剤備蓄補助事業	補助金	毒物劇物の事故発生に伴う危害防止ため、毒物劇物事故処理剤備蓄に対する補助を実施 7か所6品目の備蓄を補助		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
10	地域医療介護総合確保基金事業（医療分野）		2,808 千円	2,668 千円	2,534 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	薬剤師を活用した在宅医療研修会	補助金	在宅医療に対応できる薬剤師の資質向上を図るため、薬剤師に対する研修事業を実施 1者に800千円の補助を行った。		
2	薬剤師復職・就業支援事業	補助金	病院・薬局等における薬剤師の適正な配置を確保するため、潜在薬剤師等の復職・就業支援事業を実施 1者に1,734千円の補助を行った。		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
11	新型コロナウイルス感染症対策事業		575,975 千円	82,335 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	休業等薬局に対する継続・再開支援	補助金	医療提供体制を維持するため、休業・縮小を余儀なくされた薬局に対して継続・再開支援を行う。 実績なし		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
12	薬局価格高騰対策支援事業		0 千円	0 千円	85,590 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	薬局価格高騰対策支援事業	交付金	薬局が原油価格等の高騰の影響を受けながらも安定的なサービス提供を継続できるよう、光熱費等の価格高騰分の一部を助成 951薬局に助成を行った。		